

婦人民主クラブ学習会

私たちのくらしと憲法25条

～安心して生きられる高齢期とは？～

現在、全国で5,000人を超える人が「年金2.5%の削減法」は不当と裁判に訴えています。唐鎌先生は、東京地方裁判所へ高齢者の生活の現状を官公庁統計で分析し、根本的な理念を欠いた日本の社会保障制度の問題点を「意見書」にし提出しています。ILOの社会権規約委員会へもこの意見書をもとに要請が行われました。

貧困・格差の拡大・深化という時代の変化に対し、大企業の内部留保だけが420兆円と膨れ上がり、社会の富は途方もなく偏っています。

「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するはずの憲法が遠く感じられます。国民の権利としての25条、その中での社会保障の役割を学び、改悪を許さない運動を広める力にしましょう。

みなさまのご参加をお待ちしています。お友達もお誘いくださるようお願いいたします。

日時 11月2日(金) 13:30～16:00

会場 東京都消費生活センター 16階A

講師 唐鎌直義さん(立命館大学特任教授)

資料代 500円

主催 婦人民主クラブ

☎ 03-3478-2317

F a x 03-3478-2318